

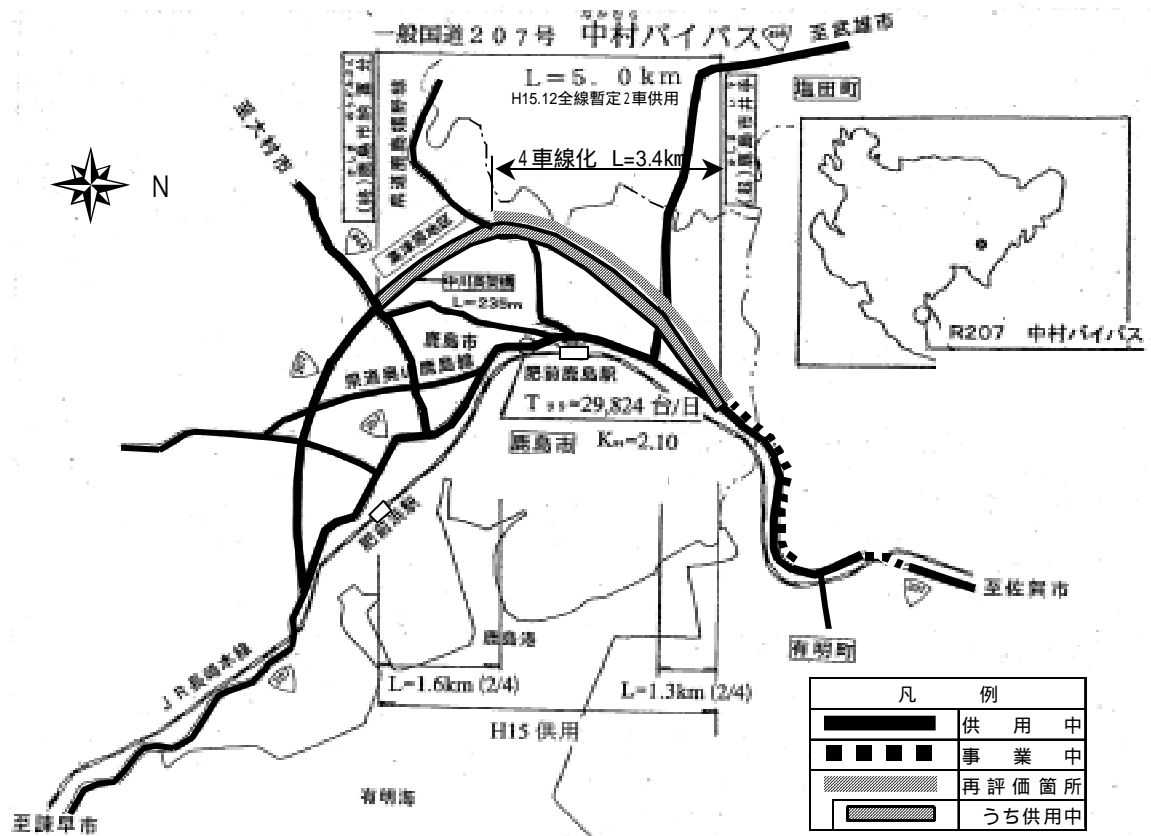
再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：国道・防災課

担当課長名：中島威夫

事業名	一般国道207号中村バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	佐賀県
起終点	自：佐賀県鹿島市井手 至：佐賀県鹿島市納富分			延長	5.0 km	
事業概要	<p>一般国道207号は、佐賀県佐賀市を起点とし、鹿島市を経て長崎県西彼杵郡時津町に至る延長約10.1 kmの幹線道路である。中村バイパスは、鹿島市内の交通混雑の緩和及び市街地部の交通安全の確保と、新たな市街地の形成を促すことを目的とした、鹿島市井手から同市納富分に至る延長5.0 kmの4車線（3.4 km：完成4車線、2.6 km：暫定2車線）道路である。</p>					
S63年度事業化	S49年度都市計画決定 (S年度変更)	S63年度用地着手	H4年度工事着手			
全体事業費	124億円	事業進捗率	96.0%	供用済延長	2.6 km	
計画交通量	19,700台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 3.7  (残事業) 1.5	総費用 (残事業)/(事業全体) 17/142億円 (事業費：12/137億円 維持管理費：5/5億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 26/426億円 (走行時間短縮便益：8/473億円 走行費用減少便益：2/42億円 交通事故減少便益：16/14億円)	基準年	平成15年	
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害への備え（1次緊急輸送道路指定）</li> <li>・その他（環状道路の形成により鹿島市街地部の健全な発展を促進する）</li> </ul>					他5項目に該当
関係する地方公共団体等の意見	<p>一般国道207号は、沿線地域の振興、市街地部の交通混雑緩和等に重要な役割を果たすことが期待されており、鹿島市をはじめとする関係2市9町の首長で構成される「国道207号改良促進期成同盟会」より早期整備の要望を受けている。</p>					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<p>平成15年12月にバイパス区間約9.2 kmが全線暫定2車線で供用したが、沿道開発による乗り入れや、交差点間隔も近いことから、朝夕の通勤時に混雑している区間が発生している。</p>					
事業の進捗状況、残事業の内容等	<p>一部において、用地買収が難航したが、平成15年12月に全線、暫定2車線で供用を行った。</p>					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<p>平成16年度に混雑の著しい区間（L=3.4 km）について4車線化を行う。</p>					
施設の構造や工法の変更等	<p>軟弱地盤対策として、道路横断構造物（BOXカルバート）前後に段差抑制工を施工した。</p>					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	<p>以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。</p>					

事業概要図



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。